

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 15

令和6年3月1日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

平成27年度に介護保険法の地域支援事業として制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」での8事業を踏まえつつ、「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」といった医療と介護の両方が必要となる生活の場面を想定し、さらに取組みをすすめていきます。

在宅医療・介護連携推進事業での取組みについて医療・介護関係者の皆様に共有することを目的として武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信を作成しています。

令和5年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会及び部会

入退院支援部会【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進】

○令和6年1月10日（水）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

一人暮らしや身寄りがいない、キーパーソンが不在といった方への入退院支援について現状どのようになっているか情報交換を行いました。病状の説明や治療方針の決定、費用の支払いや書類の手続き、今後の生活について、誰と話し合いをしたらよいか、多くの課題が出されました。

できるだけ本人の意思を尊重できるように、本人ができる準備として、ACP や緊急医療情報キットといったものの活用も方法のひとつではないかと話し合われました。 #急変時の対応 #入退院時支援

ICT連携部会【医療・介護関係者の情報共有の支援】

○令和6年1月31日（水）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

厚生労働省から出されている厚生労働分野における個人情報取扱いのためのガイドライン等をふまえ、あらためてMCS(メディカルケアステーション)運用ポリシー、登録者情報、患者グループや掲示板機能の使い方のルール等の見直しを行っていくこととしました。ICTを活用することにより医療介護連携が円滑に進められることのほか、業務負担軽減にもつながることが期待されています。

#日常の療養支援 #入退院時支援

多職種連携推進・研修部会連携部会【医療・介護関係者の研修】

○令和6年1月18日（木）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

○令和6年2月8日（木）午後7時～午後8時30分 多職種による研修の開催

多職種連携推進研修として「災害時における医療と介護の連携」をテーマにグループワークを行いました。発災直後からのそれぞれの職能団体の動きを確認しながら、想定される事態についてどうすればよいか多職種で意見交換しました。多くの課題があるなかで共通したこととして、平時からの連携が大切であることがあげられました。災害時についてはまだまだ検討が必要であるため、次年度以降も継続してはどうかと話し合われました。 #日常の療養支援

普及・啓発部会【地域住民への普及啓発】

○令和6年2月6日（火）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

12月9日（土）開催した市民セミナーについて振り返りを行いました。映画というツールを使うことで、ACPや看取りについて身近に考えられるきっかけとなったのではないかと、また、映画監督と参加者が直接やり取りできたことによって、より深められたのではないかと。"共感"というキーワードで市民セミナーを行ったのが良かったのではないかと振り返りを行いました。 #看取り

認知症連携部会

【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進】

【医療・介護関係者の情報の共有の支援】

○令和5年12月19日（火）午後7時～午後8時 対面にて開催されました。

○令和6年2月8日（木）午後7時～午後8時 オンラインで開催されました。

認知症のある方の意思決定支援について検討しました。武蔵野赤十字病院から、「私のこころづもり」として入院時に確認できるシートの取組みについて紹介がありました。「私の代わりに意思決定支援をしてくれる人」という項目があり、もの忘れ相談シートにも使えないだろうかといった検討がなされました。 #看取り #日常の療養支援

武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室

【在宅医療・介護連携に関する相談支援】

○医療・介護関係者からの相談支援窓口として武蔵野市医師会内に設置しています。

○在宅医療介護連携支援室は支援者のための支援を行う窓口として、患者から直接相談を受けるのではなく、医療機関や介護サービス事業者など関係者からの相談を受け、支援をしています。

○最近の相談対応事例をご紹介します。

【こんな相談がありました】 #日常の療養支援 #急変時の対応

『当クリニックがかかりつけ医の患者さん夫婦です。夫85歳（アルツハイマー型認知症・脊椎管狭窄症）と妻80歳（関節リウマチ・高血圧症）の高齢世帯です。夫のBPSDがひどく、同居の妻も、近くに住む長女も介護疲れの状況です。長女から夫婦でどこかにショートステイできないかと相談されました。どこかレスパイト先はないでしょうか。』



レスパイトとひと言で言ってもどこでも良いとは言えません。また長女は心配していますが夫妻は必要を感じていないようです。それぞれの医療情報だけでなく家族状況等をクリニックの相談員に確認をさせてもらったところ「リハビリのために入院」ということであれば、夫婦の納得が得られるのではないかと思います。市内地域包括ケア病床を持つ病院について情報提供し同時に病院の相談員にも連絡したうえで、クリニックと地域包括ケア病床とをつなげました。

ひとつこと こういった相談のように、具体的で、現在の情報が提供できるよう、医療機関や介護施設、サービス事業所等に積極的にアウトリーチしています！



細やかな医療・介護の情報を提供しています。ぜひご相談ください。



相談日 月・火・木・金 / 相談時間 9時～17時
電話番号 0422-39-8780
E-mail musashi-renkei@iaa.itkeeper.ne.jp
相談担当 社会福祉士／介護支援専門員 石井いほり
ICTサポート担当 上村理紗子

【事務局】 武蔵野市健康福祉部地域支援課 (在宅医療・介護連携担当) 金丸
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1941 (直通) FAX 0422-51-9218
メールアドレス SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp